

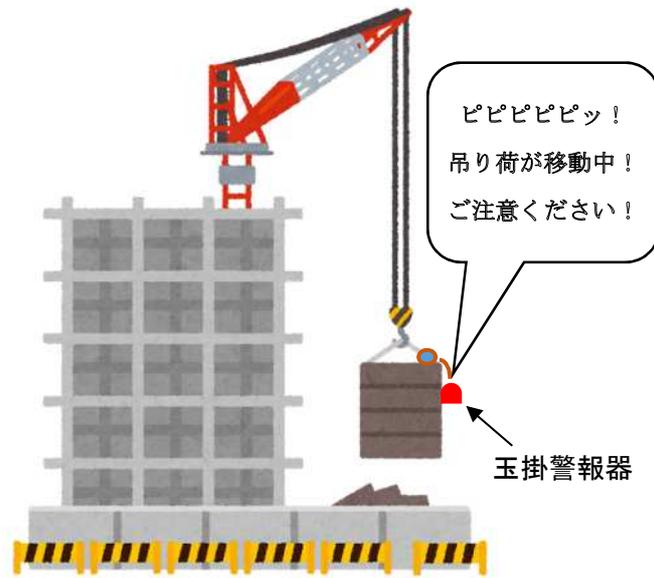
概況

令和5年10月末の交通基盤部発注工事等事故件数は、29件（前年同期28件）です。下半期に入り、重大事故のゼロを継続していますが、事故件数の増加傾向が見られます。

工事等が増加する年末に向け、今回紹介する危険箇所の見える化など、ちょっとした工夫を推奨し安全に工事を進めるようお願いします。

安全対策の好事例

【警報音で注意喚起】 同様の収集事例が複数あり



揚重作業で玉掛警報器を吊り荷に取付

警報音・音声で危険を知らせる

【脚立からの転落防止】



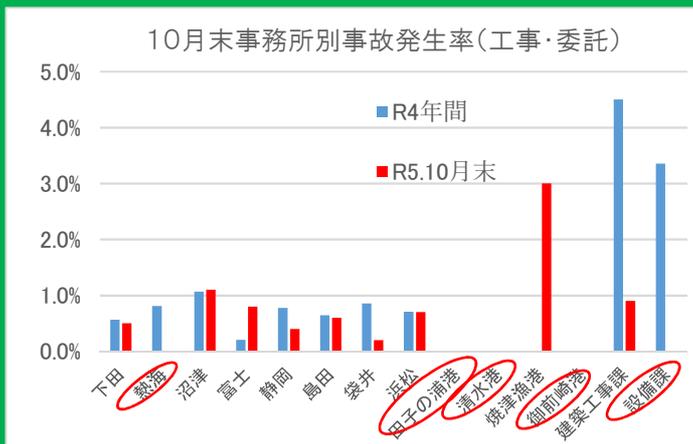
脚立のステップにすべり止めを貼り付け

安全対策を見せることで危険を知らせる

作業員の注意を喚起！！

事故関連データ

▼ 4事務所1課では工事事故発生ゼロ！



▼ 下半期に入り、工事事故件数が増加傾向！



※事故発生率(%) = 事故件数(件) / 工事・委託実施件数(件)

※R5.10月工事事故件数に、事故種別未確定分は含まず

A- Press について

『A』は、ずばり安全（Anzen）のA

『A』は、アルファベットの最初の文字

工事等に当たり、安全は最も優先されます。

安全意識の向上と情報共有のために、工事等の受発注者に毎月発信していきます。

【令和5年10月の工事等事故】

- 1 電線共同溝工で撤去したレンガ殻をバックホウでトラックに積み込む際、案内看板を損傷させた物損事故
- 2 除草作業中、草刈り機の飛石で、走行していたトラックの窓ガラスを損傷させた物損事故
- 3 道路改築工事で、仮囲い工の杭丸を打ち込む際、水道管を破損し漏水を発生させた物損事故
- 4 鋼製建具改修工事で、建具周りの躯体、モルタル研り作業中、電気配線を損傷させた物損事故
- 5 区画線工の作業終了後、移動のため車を後退させた際、消火施設に接触し損傷させた物損事故
- 6 胸壁の基礎杭工事で、杭打設前にケーシングチューブを道路に打ち込む際、下水道管を破損した物損事故